




「中期経営計画2023」のマテリアリティと指標実績

Daigasグループはマテリアリティの特定プロセスを踏まえ、「中期経営計画2023」では「ミライ価値の共創」「企業グループとしてのステージ向上」を掲げ、社会課題解決に向けた価値創造を追求し、ステークホルダーとともに実現することを重点戦略の一つとして取り組みを進めてきました。マテリアリティの各指標目標は概ね達成しましたが、今後も継続的に取り組むべき重点課題については、「中期経営計画2026」策定時に再選定しました。

企業行動憲章	重要課題(マテリアリティ)	ミライ価値	ミライ価値を実現する取り組み	指標	目標	達成年度	2023年度実績	SDGsへの貢献
I お客さま価値の創造	顧客基盤の維持・拡大	Newノーマルに対応した暮らしとビジネスの実現	顧客基盤の維持・拡大	お客さまアカウント数	1,000万件以上	2030	1,038万件	   
	顧客満足・サービス品質の向上		カスタマーリレーションシップマネジメントの取り組み	お客さま満足度	90%	2023	92%	
	顧客の安全衛生 GRIスタンダード対応指標: 416-1	お客さまと社会のレジリエンス向上	安全性・品質レベルの維持	重大事故件数	重大事故ゼロの継続	2030	重大事故ゼロ	
	サービスの安定供給		エネルギー供給のレジリエンス向上	強靱な設備形成	防災・経年対策の推進	2030	耐震化率: 約89% 地震対策ブロック数: 727ブロック	
II 環境との調和と持続可能な社会への貢献	気候変動 GRIスタンダード対応指標: 302-1 305-5	低・脱炭素社会の実現	カーボンニュートラルの実現	グループCO ₂ 排出量	CO ₂ 排出量実質ゼロ	2050	2,563万トン	    
			グリーンなエネルギーの提供と再生可能エネルギーバリューチェーンの拡大		再生可能エネルギー電源比率 ^{※2}	50%程度	2030	
			天然ガスの高度利用と環境商材の普及	再生可能エネルギー普及貢献量 ^{※2}	500kW	2030	317万kW	
				250kW	2023			
CO ₂ 排出削減貢献量(2016年度基準)	1,000万トン	2030	501万トン					
III 社会とのコミュニケーションと社会貢献	地域コミュニティとの共生 GRIスタンダード対応指標: 413-1	ミライ価値の実現を支える基盤	地域とのコミュニケーション	行政活動(まちづくり構想等)への参画数	14件	2023	51件	   
				地域との共創回数	170回	2023	248回	

※1 国内サプライチェーン(スコープ1・2・3)における排出量(「エネルギートランジション2030」で新たに2030年度目標を設定)

※2 固定価格買取(FIT)制度の適用電源を含む

企業行動憲章	重要課題(マテリアリティ)	ミライ価値	ミライ価値を実現する取り組み	指標	目標	達成年度	2023年度実績	SDGsへの貢献
IV 人権の尊重	サプライチェーンマネジメント GRIスタンダード対応指標: 308-1 414-1	ミライ価値の実現を支える基盤	責任あるサプライチェーンの構築	適切な新規サプライヤー比率	100%	2023	100%	
V コンプライアンスの推進	コンプライアンス GRIスタンダード対応指標: 307-1 418-1 419-1		グループコンプライアンスの推進	重大な法令違反件数	重大な法令違反ゼロの継続	2023	重大な法令違反ゼロ	
VI 人間成長を目指した企業経営	従業員エンゲージメント		従業員意識調査	従業員エンゲージメントの維持・向上	2030	総合4指標を適正水準に維持		
	従業員の能力開発 GRIスタンダード対応指標: 404-1		働きがいのある職場づくり	従業員1人当たりの年間研修時間	人材育成・環境の整備	2030		25.1時間/人 e-ラーニングの受講時間 ^{※1} 6.2時間/人
	ダイバーシティ&インクルージョン GRIスタンダード対応指標: 405-1		ダイバーシティ&インクルージョンの実現	① 女性役員比率・取締役比率 ^{※2} ② 女性の管理職昇格比率 ③ 女性の総合職採用比率	① それぞれ20%以上 ② 30%以上 ③ 30%以上の継続	2030		① 26.7%・20.0% ② 15.9% ③ 32.8%

※1 一部派遣社員、アルバイトを含む。保安、情報セキュリティ、環境、DX等のe-ラーニング研修が対象 ※2 女性取締役比率は2023年3月に新たに目標を設定